

(参考資料7：4条申請書記載例)

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

申請書提出日を記入  
令和2年4月1日

長野県知事 ○○ ○○ 様  
市町村農業委員会長 様

申請者氏名 甲野 太郎  
法人の場合は名称及び代表者氏名↑  
(026-235-0000)

下記のとおり農地を転用したいので農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

記 ↓法人の場合は主たる事務所の所在地、業務の内容↓

1 申請者の住所等	住 所							職 業		
	長野県 松本市郡 大字島立 町村 1020 番地							農業		
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地 目		面積	利用状況	10a当たり普通収獲高	耕作者の氏名	市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別	
	松本市 大字町 郡 島立村	1021 番地	田	田	450 m <sup>2</sup>	一毛作水田	米 520 kg	甲野太郎	市街化調整区域	
	登記簿の表示と同じにする					※1参照	※2参照	↑その農地で取れる量を記載		
計 450 m <sup>2</sup> (田 450 m <sup>2</sup> 畑 m <sup>2</sup> )										
3 転用計画	(1) 転用事由の詳細	用 途	事由の詳細		現在、居住している建物が老朽化し、改築を要するが、敷地が周囲より低いため水はけが悪く宅地として適さないので、本申請地に新築したい。なお、旧宅は取り壊し、跡地に盛り土を行い畑として利用する。					
		住宅敷地								
	(2) 事業の操業期間又は施設の利用期間		令和2年6月1日から 永久 年間							
	(3) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	第1期 (着工令和2年6月1日から令和2年12月31日)			第2期	合 計			
			名称	棟数	建築面積	所要面積		棟数	建築面積	所要面積
土地造成				450 m <sup>2</sup>				450 m <sup>2</sup>		
建築物		2階建住宅	1棟	97.2 m <sup>2</sup>		1棟	97.2 m <sup>2</sup>			
小計			1棟	97.2 m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup>		1棟	97.2 m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup>	
工作物										
小計										
計		1棟	97.2 m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup>		1棟	97.2 m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup>		
4 資金調達についての計画	土地造成費 1,000,000円 全て自己資金による。 建築費 10,500,000円									
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要	農地との間に0.5mの段差があり、法面が生じるのでコンクリート擁壁による土留めを行い土砂流出を防止する。 雨水は公道に敷設されている水路に、汚水は公共下水道に排出する。  通常は、土砂の流出、汚水の処理、雨水等の用排水路への影響、日照、通風、夜間の照明、排気ガス等による隣接農地への影響を防止するための措置を記載する。									
6 その他参考となるべき事項	都市計画法第29条の開發許可同時申請  他の法律等に基づく許認可が必要な場合、その許可見込み等について記載する									

※1 登記簿の面積を記載すること。なお、一筆の内の一部を転用する場合は、転用する位置、面積が特定できる実測図を添付する。また、地目変更登記をする場合はあらかじめ分筆した後に申請すること。

※2 田にあつては二毛作、一毛作の別、畑にあつては普通畑、果樹園、桑畑、牧草地、茶畑、その他の別を記載する。

注) 明朝体は様式、行書体は記載例、ゴシック体は記入上の留意点